

第57回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 議事録

1. 開催日時 令和6年1月23日(火) 10時00分～11時30分

2. 開催場所 奈良市役所 中央棟6階 正庁

3. 出席者（敬称略）

会 長	奈良市長 仲川 げん
委 員	近畿運輸局奈良運輸支局長 川口 宏幸（代理） 积迦戸 久夫
委 員	近畿地方整備局奈良国道事務所長 伊藤 努
委 員	奈良市自治連合会代表 尾形 季久雄
委 員	西日本旅客鉄道株式会社近畿統括本部阪奈支社地域共生室長 松本 茂樹 (代理) 飯田 慎也
委 員	近畿日本鉄道株式会社総合企画本部企画推進部長 山本 恒平（代理） 神尾 守人
委 員	公益社団法人奈良県バス協会専務理事 井上 景之
委 員	奈良交通株式会社乗合事業部統括部長 大西 秀樹
委 員	奈良県タクシー協会奈良市部会代表 服部 圭藏
委 員	奈良県交通運輸産業労働組合協議会事務局長 今西 宏（代理） 木寅 賢司
委 員	奈良県奈良警察署長 小畑 浩康（代理） 増田 成彦
委 員	奈良県警察本部交通部交通規制課長 玉垣 潔士
委 員	奈良県県土マネジメント部次長 安井 広之（代理） 篠田 隆三
委 員	奈良県県土マネジメント部地域デザイン推進局次長 竹田 博康（代理） 牧田 孝光
委 員	奈良市都市整備部長 梅田 勝弘

（欠席）

副 会 長	京都大学大学院工学研究科都市社会工学専攻教授 藤井 聡
委 員	公益社団法人奈良市観光協会会長 乾 昌弘
委 員	一般社団法人奈良県タクシー協会専務理事 葛城 滝男
委 員	奈良県奈良土木事務所長 六車 憲雄

4. 議事

◆事務局からの説明

- (1) 令和 5 年秋期の取組概要と結果【資料 1】
- (2) 令和 5 年秋期の奈良中心市街地の渋滞状況と分析【資料 2】
- (3) 令和 5 年秋期の連携計画の目標達成状況【資料 3】
- (4) 令和 6 年度の取組内容(案)【資料 4】

◆審議内容(主な意見)(●:委員 ○:事務局)

- (1) 令和 5 年秋期の取組概要と結果について
- (2) 令和 5 年秋期の奈良中心市街地の渋滞状況と分析について

- 道路上の看板で P&R を知った人の割合は、昨年と比較してどうだったのか。
- 資料 1 の p10 のとおり、道中で P&R を知った人のうち、道路上の看板で知った人の割合は、令和元年秋期が 74%、令和 4 年秋期が 92%、令和 5 年秋期が 86%であった。
- 令和 6 年度から木簡型一日乗車券を廃止し、奈良交通の「奈良公園・西ノ京 世界遺産 1-Day Pass」で代替することで、鉄道事業者などにも何か影響はあるのか。
- 木簡型一日乗車券は「奈良公園・西ノ京 世界遺産 1-Day Pass」と同様の乗り放題区間であり、形が紙か木簡かという違いだけであるため、1-Day Pass になっても影響はほとんどないと考えている。これまで同様、公共交通機関での来訪を推進していくので、近鉄や JR とは引き続き連携して取り組んでいきたい。

- (3) 令和 5 年秋期の連携計画の目標達成状況について

- (4) 令和 6 年度の取組内容(案)について

- 資料 4 の p1 では、令和 6 年春期の奈良市役所駐車場での P&R の実施は調整中とのことだが、渋滞対策として P&R は非常に重要であり、その中でも奈良市役所駐車場での P&R の実施は効果が大きいと考えられる。何とかして奈良市役所駐車場を開設できないか。
- 奈良市役所駐車場は開設できるよう可能な限り調整するが、現時点では開設できるかは未定である。
- 資料 4 の p6 に登大路駐車場の料金体系を検討するとあるが、駐車料金を上げる方向で検討するのか、下げる方向で検討するのか、方向性だけでも教えてもらえないか。
- 登大路駐車場は、正倉院展期間の平日・休日を含め、観光シーズンは混雑している。来庁者用の駐車場でもあり、観光客用の駐車場でもあるため、周辺の民間駐車場の料金等を確認しながら均衡を図るべく検討を進めている。平日は来庁者に配慮して無料の時間設定があるが、それも含めてどのような料金体系が良いのか検討している。
- 登大路駐車場は、土日も無料の時間設定があるのか。また、料金はいくらか。
- 登大路駐車場は、土日は来庁者がいないため無料の時間設定はなく、1 回の駐車時間で関係なく一律 1,000 円である。
- 5 年ほど前の協議会でも、登大路駐車場の料金が非常に安く、かえって車を中心部へ呼び込む可能性があり、値上げした方がよいのではないかという話があった。そのような意味では、中心部に近づくほど料金が高くなり、安くとめたい人はなるべく中心部から離れた場所にとめたくるように誘導した方が行動心理学的には良いと思う。
- 登大路駐車場の料金は条例で定められていると思うが、手続きも必要になるので、4 月に料金を変

- えるのか、それとも1年くらい検討するのか。
- 今後の予定も含めて慎重に検討しているところ。
 - 資料4のp7にぐるっとバスの料金値上げを検討するとあるが、収支は赤字なのか。
 - 資料4のp7の表の通り、ぐるっとバスの利用者は増えているので運賃収入見込は増えているが、1乗車100円で運行しているため、表に示す金額を協議会で負担している。
 - 資料4のp9の地図の右上のP&R駐車場の中に「※県営奈良めぐり平城宮跡前自動車駐車場」とある。大きな駐車場だが、どのような活用を考えているのか。
 - 県営奈良めぐり平城宮跡前自動車駐車場は、平城宮跡の駐車場として利用している。平城宮跡に来た方が当該駐車場に車を止め、そのまま奈良公園に行くなど、P&R駐車場のような利用を妨げてはいない状況。しかし、現状では奈良公園のために当該駐車場を運営することは想定していないと、県の方に確認が取れている。ただし、当該駐車場のある大宮通り南側の広場については、どのように整備するかということ県で現在検討しているため、協議会でも情報収集し、共有していきたいと思う。
 - 平城宮跡の駐車場の年間の稼働率を教えてください。満車になっている様子はほとんど見たことがなく、空車が多いようだが、なぜP&R駐車場として活用しないのか。ぐるっとバスが平城宮跡に停車するので、観光客に平城宮跡の駐車場にとめていただき、24時間営業にするなど、P&R駐車場として活用する方が効率的だと思うが、考え方を教えてください。
 - 今は詳細な数字を持ち合わせてはいない。平城宮跡の駐車場はいつも満車という状況ではないが、具体的な活用方法は、事務局とも相談しながら検討していきたいと思う。
 - 大仏殿前駐車場について、奈良に宿泊する修学旅行生の観光バスのみ駐車可能にするなど、奈良の経済に貢献するような形で駐車場を活用できないか。
 - 大仏殿前駐車場は、ぐるっとバスに加え、奈良に宿泊する方の観光バスは駐車可能で、また、障がいのある方が乗っている自家用車と観光バスも駐車可能である。
 - 満車になっている様子をあまり見たことがないが、大仏殿前駐車場はどのような利用状況か。
 - とめられるスペースはあまりないと認識しているが、具体的な数字を今は持ち合わせていない。
 - 資料4のp8にあるワーキンググループを新たに設置してどのような議論をするのか。今までも本協議会では、奈良中心市街地への自動車の流入抑制のためのP&Rやぐるっとバスの運行などについて、様々な議論がされてきたと思う。
 - どのような内容を議論するのかはまだ決まっていないが、本協議会は、市でできる範囲、県でできる範囲で各々議論しているということが実情なので、多くの事業者と連携して議論ができていない状況である。そこで、このワーキンググループが、市、県、交通事業者が集まり、それぞれの役割やできることを明確にし、効率的に議論できる場になればと考えている。議論する内容にもよるが、可能であればJR、近鉄、バス事業者、タクシー事業者の方々にも入っていただき、議論できればと考えている。
 - 今までに57回も本協議会を開催しているが、渋滞の目標が達成できておらず、対策が十分ではないと考えている。新型コロナウイルス感染症の感染が収束し、今後渋滞を引き起こす要因は増えていく可能性がある。公共交通という観点では運転手不足、ライドシェア等の話題があり、国も動いている。ぐるっとバスについても、渋滞対策や、観光客の移動手段だけでなく、一般市民の日常の足にもなっているので、ルートや運行頻度がどうあるべきか、抜本的な議論が必要ではないかと考えている。従来の対策だけではこの先行き詰まるのではないかと問題意識もあり、ワーキンググループ

を新たに設置したいと考えている。ただし、参加人数が多いと日程調整が難しくなるため、ある程度人数を絞り、分科会のような形でできればと考えている。色々な社会システムを見直していく、または、他の成功地域の取組も含めて、幅広い可能性があると思っている。様々なことを忌憚なく意見交換したうえで取組方策を一定とりまとめ、半年程度の期間をかけてできるところから順次取組み、令和6年秋期には実証実験を実施したいと考えている。

- 奈良交通としても全国的に問題となっている運転手不足の状況のため、バス事業の持続可能性を考え、運賃を上げてお客様にも負担していただくことで、バス事業を継続できるように検討する時期だと考えている。当社の路線バスの走り方は何十年も大きくは変わっていないが、大和西大寺駅南口が整備され、人の動きも変わっているため、少し幅広に路線バスを見直す必要があると考えている。非常に良い機会なので、積極的に参加したい。
- タクシーは大量輸送ではなく個別輸送になる。新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行され、奈良公園に行く観光客も増えているが、奈良公園に行く方には、通常、大仏殿前交差点東側のタクシー専用降り場で降りていただく。このタクシー降り場を外国籍の方等が運転している自家用車が占拠している場合があり、タクシーでお客様をお送りしたときにトラブルになる場合がある。
- 大仏殿前交差点東側のタクシー降り場に、無許可で旅客輸送をする違法タクシー(白タク)が増えていると聞いている。例えば、タクシー降り場に警備員を配置し、停めてはいけない場所に停まっている車に対し、注意喚起等はできないか。
- 大仏殿交差点東側のタクシー降り場付近の白タク問題は、奈良公園内の管理道路ということで、県で随時見回りし、注意喚起をしている。警備員を常時配置する場合、その分経費も必要になる。タクシー業者からも同様の意見をいただいているので、どのようなやり方が効率的なのか意見交換しながら対応していきたい。
- 警備員を配置する場合は、市で予算を検討することも可能である。
- 奈良運輸支局では、先月12月に奈良県警と協力し、大仏殿交差点東側のタクシー降り場付近で、日本語だけでなく、外国語表記をしたチラシを配り、白タクを利用しない、させないための啓発活動を実施した。
- 七五三の時期など観光客が集中するときは、奈良公園周辺の道路が渋滞し、大仏殿交差点東側のタクシー降り場に到着するのに時間がかかりかかる。さらに、お客様を降ろした後に近鉄奈良駅方面へ戻る際は、一度春日大社の方へ向かい転回しなければならず、大仏殿交差点東側の渋滞に巻き込まれ、次のお客様に大変ご迷惑をかけている状況である。
- 大仏殿交差点東側のタクシー降り場でお客様を降ろした後に、その場で転回できるようになれば、早く次のお客様を乗せることができる。何か解決の余地はないか。
- ロータリー等の転回場所となるとハード整備が必要になるので、規制が厳しい奈良公園の区域内でどのようなことができるかを含めて検討できればと思う。

5. 閉会

以上